

健全性の バロメーター

Soundness

自己資本比率 = 19.78% 程度

自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を示す基本的な指標で、信用金庫の場合は4.0%（国内基準）以上であることが求められております。

当金庫の令和5年9月末の自己資本比率は19.78%程度で国内基準の4.9倍にあたり、健全性・安全性とも高い水準にあると認識しております。

当金庫の自己資本比率が高い水準を維持しているのは、早くから、每期適正利益を確保し、自己資本を高めていかなければならないとの認識のもと、地道に自己資本の積上げと経営の健全性・安全性・透明性の向上に取り組んできた結果によるものです。

● 自己資本比率の推移



● 自己資本の充実度に関する事項

(単位：千円)

項目	令和5年3月末		令和5年9月末	
		経過措置による不算入額		経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	12,363,910	/	12,929,201	/
うち、出資金及び資本剰余金の額	439,959	/	437,134	/
うち、利益剰余金の額	11,931,415	/	12,492,067	/
うち、外部流出予定額 (△)	7,464	/	-	/
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	263,876	/	197,946	/
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	263,876	/	197,946	/
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	12,627,786	/	13,127,148	/
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	14,697	/	14,405	/
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	14,697	/	14,405	/
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	14,697	/	14,405	/
自己資本				
自己資本の額 [(イ)-(ロ)] (ハ)	12,613,089	/	13,112,743	/
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	61,662,678	/	66,260,786	/
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	/	-	/
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	/	-	/
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,537,395	/	3,537,395	/
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	65,200,074	/	66,260,786	/
自己資本比率				
自己資本比率 [(ハ)/(ニ)]	19.34%	/	19.78% 程度	/

(注)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。